

小規模企業の景況

(2023年4～6月期)

大阪商工会議所による小規模企業の景況調査(四半期毎)2023年4～6月期の結果概要は以下の通り。今期(2023年4～6月期、調査基準日:6月1日)の業況判断DIは▲7.2と前回調査から17.8ポイント改善し、2期ぶりに上昇した。売上額DI値は6.1(前回調査から19.6ポイント改善)、資金繰りDI値は▲9.3(前回調査から11.2ポイント改善)、従業員過不足DI値は▲11.8(前回調査からプラス1.4ポイント)となった。「経営上の問題点」では、「原材料価格の上昇」が製造業で7期連続となったほか、「仕入単価の上昇」が卸売業で5期連続・小売業で4期連続、「材料等仕入単価の上昇」がサービス業で2期連続第1位となった。

1. 今期(2023年4～6月期)の状況

【売上額】今期(2023年4～6月期)の売上額DI(全産業)は、前回調査(2023年1～3月期の▲13.5)から19.6ポイント改善し、6.1となった。業種別では前回調査から、製造業が28.8ポイント、小売業が20.1ポイントと大幅に改善、卸売業で16.4ポイント、サービス業でも12.8ポイント改善した。

【資金繰り】今期の資金繰りDI(全産業)は、前回調査(▲20.5)から11.2ポイント改善し、▲9.3となった。業種別では前回調査から、サービス業が21.1ポイント、製造業が6.2ポイント、卸売業は9.9ポイント、小売業が6.1ポイントそれぞれ改善した。

【業況判断】今期の業況判断DI(全産業)は、前回調査(▲25.0)から17.8ポイント改善し、▲7.2となった。業種別では前回調査から、サービス業が24.0ポイント、製造業が15.2ポイント、卸売業が19.6ポイント、小売業が12.3ポイントそれぞれ改善した。

【従業員数過不足】今期の従業員数過不足DI(全産業)は、前回調査(▲13.2)からプラス1.4ポイントで▲11.8となった。業種別では前回調査から、製造業は7.5ポイント、小売業が0.9ポイントそれぞれ改善し、卸売業が3.3ポイント、サービス業は0.7ポイントそれぞれ悪化した。

2. 来期(2023年7～9月期)の予想

来期(2023年7～9月期)の全産業の予想DIは、売上額9.7、資金繰り▲7.2、業況判断は横ばいとなった。

3. 経営上の問題点

製造業で「原材料価格の上昇」、卸売業・小売業で「仕入単価の上昇」、サービス業で「材料等仕入れ単価の上昇」が第1位となった。

※DI値とは……ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、本調査では前年同期(2022年4～6月期)と比較して売上額、業況判断、資金繰りなどが「増加」「好転」したなどとする企業割合から、「減少」「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

【調査の概要】

- ・調査名：第172回中小企業景況調査（中小企業庁・中小企業基盤整備機構）
 - ・調査時期：2023年5月23日～6月1日（前回：2023年2月16日～3月1日）
 - ・調査方法：経営指導員による、調査票に基づく聴取り調査
 - ・調査対象：大阪市内の中小企業・小規模事業者
 - ※ 全国7,896件中、大阪商工会議所分324件。
 - ※ 本紙では、大阪商工会議所分のうちとくに小規模事業者（従業員：製造業20人以下、商業・サービス業5人以下）279件について取りまとめた。
- 〔製造業75件、卸売業61件、小売業66件、サービス業77件〕

■DI推移（全産業）

	169回調査	170回調査	171回調査 (前回)		172回調査 (今回)	
	2022年(R4) 7～9月期	2022年(R4) 10～12月期	2023年(R5) 1～3月期	2023年(R5) 4～6月期	2023年(R5) 4～6月期	2023年(R5) 7～9月期
売上額（増-減）	-14.7	-10.3	-13.5	-3.1	6.1	9.7
資金繰り（好-悪）	-23.3	-20.0	-20.5	-17.7	-9.3	-7.2
業況（好-悪）	-25.7	-16.6	-25.0	-17.0	-7.2	0.0
従業員（過-不）	-12.0	-13.1	-13.2		-11.8	—

■経営上の問題点

順位	製造業	件数	卸売業	件数	小売業	件数	サービス業	件数
1位	原材料価格の上昇 →	24 (33)	仕入単価の上昇 →	25 (25)	仕入単価の上昇 →	13 (25)	材料等仕入単価の上昇 →	10 (14)
2位	需要の停滞 →	10 (12)	需要の停滞 →	10 (13)	消費者ニーズの変化への対応 →	10 (10)	需要の停滞 ↓ 人件費の増加 ↑	9 (14) 9 (6)
3位	製品ニーズへの変化の対応 ↑	8 (5)	商品在庫の過剰 ↑ 大企業の進出による競争の激化 ↑	3 (2) 3 (1)	大型店・中型店の進出による競争の激化 →	9 (7)		

〔注〕（ ）内は前回（2023年1～3月期）調査結果

↑ = 前回より高順位

→ = 前回と同順位

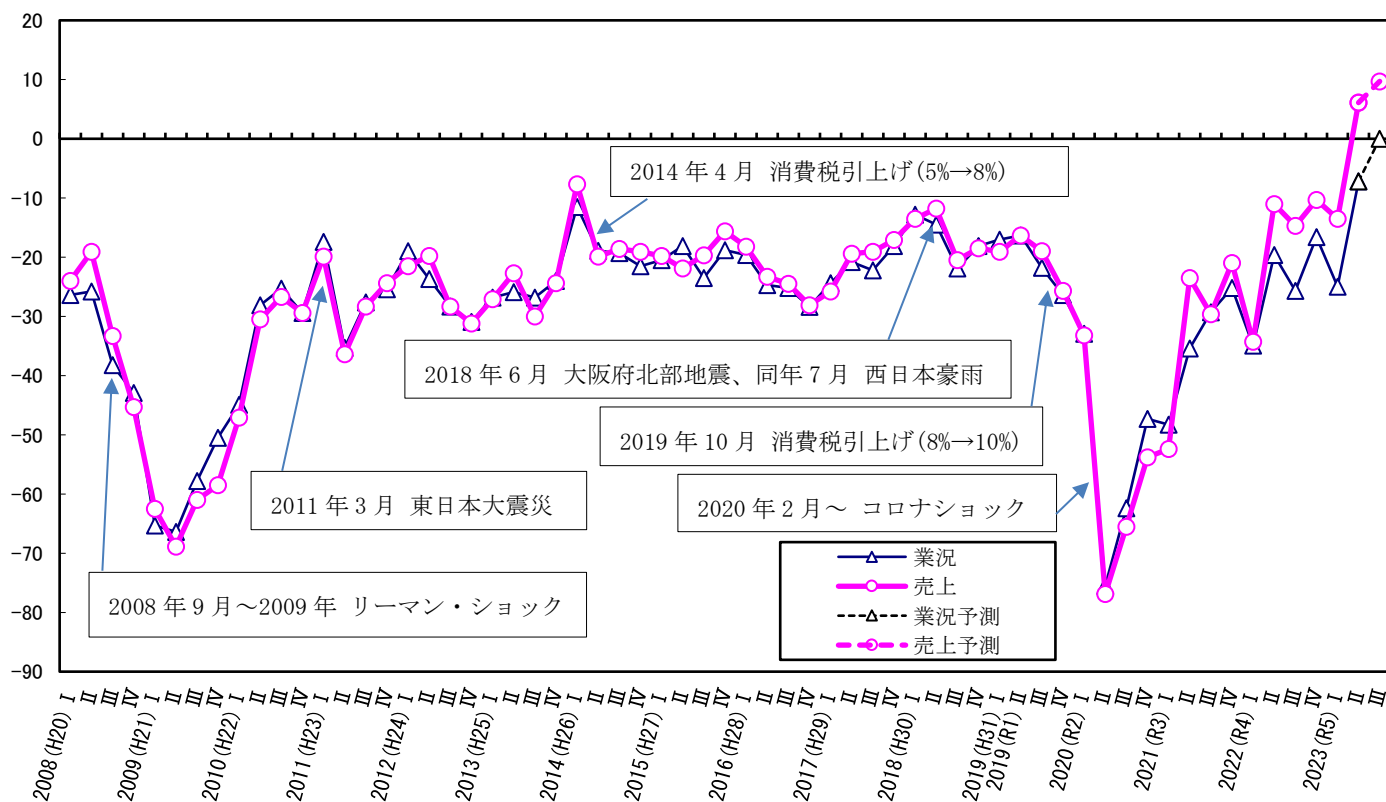
↓ = 前回より低順位

■ 状況比較表（業種別）

項目	業種	今期の状況(4~6月期)				前回(1~3月期)からの推移	来期の予想(7~9月期)			
		増加	不変	減少	増一減		増加	不変	減少	増一減
売上額										
	製造業	34.7	38.7	26.7	8.0	28.8	25.3	49.3	25.3	0.0
	卸売業	36.1	31.1	31.1	4.9	16.4	23.0	42.6	34.4	▲ 11.5
	小売業	31.8	39.4	28.8	3.0	20.1	39.4	36.4	24.2	15.2
	サービス業	35.1	37.7	27.3	7.8	12.8	45.5	39.0	14.3	31.2
	合計	34.4	36.9	28.3	6.1	19.6	33.7	41.9	24.0	9.7
	前回	26.0	34.4	39.6	▲ 13.5		25.7	44.8	28.8	▲ 3.1
資金繰り		好転	不変	悪化	好一悪		好転	不変	悪化	好一悪
	製造業	4.0	80.0	14.7	▲ 10.7	6.2	2.7	82.7	13.3	▲ 10.7
	卸売業	6.6	78.7	11.5	▲ 4.9	9.9	6.6	80.3	13.1	▲ 6.6
	小売業	7.6	66.7	25.8	▲ 18.2	6.1	7.6	68.2	24.2	▲ 16.7
	サービス業	14.3	64.9	18.2	▲ 3.9	21.1	15.6	70.1	11.7	3.9
	合計	8.2	72.4	17.6	▲ 9.3	11.2	8.2	75.3	15.4	▲ 7.2
	前回	4.2	71.2	24.7	▲ 20.5		3.8	74.0	21.5	▲ 17.7
業況		好転	不変	悪化	好一悪		好転	不変	悪化	好一悪
	製造業	16.0	53.3	30.7	▲ 14.7	15.2	13.3	61.3	21.3	▲ 8.0
	卸売業	18.0	49.2	29.5	▲ 11.5	19.6	16.4	55.7	21.3	▲ 4.9
	小売業	16.7	53.0	27.3	▲ 10.6	12.3	21.2	47.0	28.8	▲ 7.6
	サービス業	31.2	42.9	24.7	6.5	24.0	31.2	53.2	13.0	18.2
	合計	20.8	49.5	28.0	▲ 7.2	17.8	20.8	54.5	20.8	0.0
	前回	11.8	51.0	36.8	▲ 25.0		12.5	55.6	29.5	▲ 17.0
従業員		過剰	適正	不足	過一不					
	製造業	2.7	80.0	13.3	▲ 10.7	7.5				
	卸売業	0.0	88.5	8.2	▲ 8.2	▲ 3.3				
	小売業	1.5	75.8	10.6	▲ 9.1	0.9				
	サービス業	2.6	72.7	20.8	▲ 18.2	▲ 0.7				
	合計	1.8	78.9	13.6	▲ 11.8	1.4				
	前回	1.4	76.4	14.6	▲ 13.2					

「今期の状況（除従業員）」は2023年4~6月期状況であり、前年同期の2022年4~6月期との比較。来期の予想は2023年7~9月期予想であり、2022年7~9月期との比較である。「前回」欄は2023年1~3月期調査の数字。従業員は、過去との比較ではなく、業務量に照らした過不足。

■景況グラフ（売上額・業況）



※表示値＝D I（増加・好転－減少・悪化）値

※ I 期=1-3月、II 期=4-6月、III 期=7-9月、IV 期=10-12月

※2023年III 予想値